

平成 31 年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	ON! 1 (音楽之友社)						
副教材等	つどい (啓隆社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の4つの分野について学習します。
- ・学習の到達度は、授業でのワークシートや実技テストで評価します。
- ・生徒の主体的な授業への参加を重視します。

2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱・器楽・創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、歌唱・器楽・創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート
上 に 示 す 観 点 に 基 づ い て 、 学 習 の ま と ま り ご と に 評 価 し 、 学 年 末 に 5 段 階 の 評 定 に ま と め ま す。 学 習 内 容 に 応 じ て 、 そ れ ぞ れ の 観 点 を 適 切 に 配 分 し 、 評 価 し ま す。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	イメージを持って豊かな声で歌おう	【歌唱】 翼をください ありがとう 少年時代 ハナミズキ 花は咲く おおシャンゼリゼ	○	○	○		a: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚しそれらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リコーダーソロに挑戦しよう	【器楽】 アルトリコーダー ソロ曲 おおスザンナ 主よ人の喜びよ メヌエット リベルタンゴ	○	○	○		a: リコーダーに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: リコーダーの基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	題名と音楽のかかわり	【鑑賞】 動物の謝肉祭	○			○	a: 音楽で扱われる曲名と音楽との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながらそれらの価値を考えてりして音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている	観察 ワークシート
	リズムに親しもう	【創作】 簡単なリズムアンサンブルをつくろう		○			b: リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート 提出作品

2学期	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 野ばら (原語唱)	○	○	○	<p>a:「野ばら」の曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b:旋律やリズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫しどのように演奏するか表現意図を持っている。</p> <p>c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取
	歌詞にこめられた想いを聴こう	【鑑賞】 島唄 オキナワの背景 歌詞の本当の意味	○			○ <p>a:歌詞にこめられた文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じ取りながらそれらの価値を考えてりして音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターに挑戦しよう	【器楽】 ギター アポヤンド奏法	○	○	○	<p>a:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りどのように演奏するか表現意図を持っている。</p> <p>c:アポヤンド奏法をするためにギターの基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。</p>	観察 ワークシート 演奏の聴取

3 学期	ギター二重奏に挑戦しよう	【器楽】 ギター アルアイレ奏法 和音奏法	○	○	○	a:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしどのように演奏するか表現意図を持っている。 c:アルアイレ奏法をするためにギターの基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 ぼくはぼく	○	○	○	a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律・ハーモニーを知覚しそれらの働きが生み出す雰囲気や特質を感じながら歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている	観察 演奏の聴取

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能 d:鑑賞の能力

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成 31 年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	MOUSA 2 (教育芸術社)						
副教材等	つどい (啓隆社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の4つの分野について学習します。
- ・学習の到達度は、授業でのワークシートや実技テストで評価します。
- ・生徒の主体的な授業への参加を重視します。

2 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と鑑賞の能力を伸ばす。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱・器楽・創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、歌唱・器楽・創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 Caro mio ben Nel cor piu non min sento (原語唱)	○	○	○		a: 歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律やリズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫しどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターアンサンブルに挑戦しよう	【器楽】 ギターアンサンブル 10曲の中から選択	○	○	○		a: ギターの応用的な奏法の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: アンサンブルするためにギターの基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リズムに親しもう	【創作】 Clapping アンサンブルをつくらう		○			b: リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感じしながら表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート 提出作品

2学期	ミュージカルに親しもう	【歌唱】 ミュージカルセレクション (原語唱)	○	○	○	a: ミュージカルの曲中で使用されている曲の曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律やリズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫しどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	絵画と音楽の関係を聴こう	【鑑賞】 展覧会の絵 ムソルグスキー作曲	○			○ a: 絵画と音楽との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながらそれらの価値を考えてりして音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ギターに挑戦しよう	【器楽】 ギター弾き語り 15 曲の中から 1 曲選択	○	○	○	a: ギター弾き語り奏法の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: ギター弾き語りをするためにギターの基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

3 学期	グループアンサンブルに挑戦しよう	【歌唱・器楽・鑑賞・創作】 グループアンサンブル	○	○	○	a: グループアンサンブルの特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: アンサンブルをするためにギターの基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 未来へ	○	○	○	a: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律・ハーモニーを知覚しそれらの働きが生み出す雰囲気や特質を感じしながら歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている	観察 演奏の聴取

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能 d: 知識・理解

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成 31 年度 芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	音楽Ⅲ（教育出版）						
副教材等	つどい（啓隆社）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の4つの分野について学習します。
- ・学習の到達度は、授業でのワークシートや実技テストで評価します。
- ・生徒の主体的な授業への参加を重視します。

2 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b: 音楽表現の創意工夫	c: 音楽表現の技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱・器楽・創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、歌唱・器楽・創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 Vaga luna che inargenti (原語唱)	○	○	○		a: 歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律やリズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫しどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	キーボード弾き語りにも挑戦しよう	【器楽】 キーボードコード弾き語り 10曲の中から選択	○	○	○		a: キーボードの応用的な奏法の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: 弾き語りするためにキーボードの基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	作曲に親しもう	【創作】 簡単な作曲		○			b: リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感じながら表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート 提出作品

2学期	ミュージカルに親しもう	【歌唱】 ミュージカルセレクション (原語唱) 2年次に取り上げていない ミュージカルナンバー	○	○	○	a: ミュージカルの曲中で使用されている曲の曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律やリズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫しどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	絵画と音楽の関係を聴こう	【鑑賞】 ボレロ ラベル作曲	○			a: 楽器と音楽との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながらそれらの価値を考えてりして音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	弦楽合奏に挑戦しよう	【器楽】 弦楽器 ヴァイオリン チェロ	○	○	○	a: 弦楽合奏の特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: 弦楽合奏をするために弦楽器の基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

3 学期	グループアンサンブルに挑戦しよう	【歌唱・器楽・鑑賞・創作】 グループアンサンブル	○	○	○	a: グループアンサンブルの特徴に関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしどのように演奏するか表現意図を持っている。 c: アンサンブルをするためにギターの基礎的な演奏技能を身につけ創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 今日もひとつ	○	○	○	a: 歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律・ハーモニーを知覚しそれらの働きが生み出す雰囲気や特質を感じながら歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている	観察 演奏の聴取

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 音楽表現の創意工夫
c: 音楽表現の技能 d: 知識・理解

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成31年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「書道 I」 (東京書籍)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違いなどを学びましょう。
- ・行書から入り、楷書・篆書などの書体や仮名を学んで、筆の弾力を使いこなし、感性を高め、表現と鑑賞の基礎的・基本的な能力を伸ばすことを目指します。
- ・身近に飾れる個性豊かな書作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組みようとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	・観察 ・レポート ・ワークシート	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	書写と書道	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科書写と芸術科書道(硬筆も行う) 用具・用材 姿勢・執筆法 いろいろな線による広がり 	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> a: 書写と書道の違いと密接な関連について興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b: 書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c: 姿勢や執筆法の基本を身に付け表している。 d: 書写と書道の類似点・相違点を理解し、多様な線質による表現の違いを感じ取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・ワークシート ・提出作品
	漢字の書(行書)	<ul style="list-style-type: none"> ・行書による学習 基本・臨書・鑑賞 1文字創作作品制作 相互鑑賞会 	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> a 行書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b: 様々な用具用材の違いを理解し、表現を工夫している。 c: 筆の弾力を利用し、行書の基本的な用筆法を身に付け表している。 d: 古典のよさや美しさを味わっている。互いの作品を鑑賞し、そのよさを創造的に味わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
	漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字仮名交じりの書 作品制作(顔彩使用) 相互鑑賞会 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> a: 創作活動について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b: 自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c: 作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d: 互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

2 学期	篆刻	・姓名印の制作 篆書体	○			○	a: 名前の篆書体を調べて書体の変遷について関心を持ち、印の表現活動に、意欲的に取り組もうとしている。 b: 篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 c: 趣のある印を制作するための印刀を扱う技法を身に付け表している。 d: 方寸の世界のおもしろさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
		・楷書による学習 基本・臨書・鑑賞 画仙紙での多字数作品制作 相互鑑賞会	○	○	○			a: 楷書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b: 用筆法による表現の幅を理解し、表現を工夫している。 c: 筆の弾力を利用し、楷書の基本的な用筆法を身に付け表している。 d: 古典のよさや美しさを味わっている。互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
3 学期	仮名の書	・仮名による学習 基本・臨書・鑑賞 連綿・散らし書き 短冊・色紙 硬筆	○	○		○	a: 仮名の歴史やその美（連綿、散らし書きなど）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b: 仮名の書の美と基礎・基本的な技法を学び、表現を工夫している。 c: 基礎的・基本的な連綿や散らし書きの技法を身に付け表している。 d: 日本の書の伝統と文化について幅広く理解し、仮名の書のよさや美しさを感じ取っている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

※ 表中の観点について a: 書への関心・意欲・態度 b: 書表現の構想と工夫
c: 創造的な書表現の技能 d: 鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観

点) について○を付けている。

平成31年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「書道Ⅱ」 (東京書籍)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・書道Ⅰの授業で学んだことを発展させて、書道の創造的な諸活動を行い、個性豊かな作品を作ることを目指します。
- ・漢字の歴史を追いながら作品を制作し、書の文化と伝統についての理解を深めます。
- ・立体的な書として「刻字」作品を制作し、自己表現の幅を広げます。

2 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	漢字の書書体の変遷	・篆書による学習 基本・臨書・鑑賞 甲骨文 小臣觶犧尊 石鼓文(半切1/2)	○		○	○	a: 篆書の成立やその表現技法について関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b: 篆書の美を感受し、表現を工夫している。 c: 表現技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d: 篆書の造形美や特徴を深く理解し、書と文字と文化について幅広く考え、篆書のよさや美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
		・隸書による学習 基本・臨書・鑑賞 礼器碑(半切1/2)	○		○	○	a: 隸書の美とその表現技法について関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b: 隸書の美を感受し、表現を工夫している。 c: 表現技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d: 書と文字と文化について幅広く考え、隸書のよさや美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
		・草書による学習 基本・臨書・鑑賞 十七帖(半切1/2)	○		○	○	a: 草書の成立や特徴について関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b: 草書の美を感受し、表現を工夫している。 c: 表現技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d: 書と文字と文化について幅広く考え、草書のよさや美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

2 学期	2 字 創 作	・二字熟語による創作作品制作(5書体による書き分け) 半切1/3 相互鑑賞会	○	○	○	<p>a:学習してきた古典を背景に、漢字作品の制作に意欲的・積極的に取り組もうとしている。</p> <p>b:自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。</p> <p>c:自己表現のための撰文や用具・用材の選択を適切に行い、創造的な表現の技能を身に付け表している。</p> <p>d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
	漢 字 仮 名 交 じ り の 書	・漢字仮名交じりの書 作品制作(1/3) 相互鑑賞会	○	○	○	<p>a:漢字と仮名の調和をはかりながら、創造的な作品制作に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>b:自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。</p> <p>c:自己表現のための撰文や用具・用材の選択を適切に行い、創造的な表現の技能を身に付け表している。</p> <p>d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
	刻 字	・刻字 書稿制作 籠字 彫る	○	○	○	<p>a:立体書としての美の表現に興味・関心を深め、基礎・基本の刀法や表現技法を主体的に身に付けようとしている。</p> <p>b:刻字の表現分野を理解して感性を豊かにし、創造性豊かな表現の工夫をしている。</p> <p>c:刻字の表現をするための刀法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。</p> <p>d:刻字の造形美や刻刀が奏でる立体美を感じ取っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
3 学期	刻 字	彩色 仕上げ 相互鑑賞会					

	大字書	・大字書 半截	○	○		a:大字書の制作に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c:体全体を使って大作を制作している。 d:大作作品のよさや迫力を創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
--	-----	------------	---	---	--	--	----------------------------------

※ 表中の観点について a:書への関心・意欲・態度 b:書表現の構想と工夫
 c:創造的な書表現の技能 d:鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成31年度 芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「書道Ⅲ」 (東京書籍)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・書道Ⅰ・Ⅱの授業で学んだことを発展させて、書道の創造的な諸活動を行い、個性豊かな作品を作ることを目指します。
- ・各自が主体的に活動内容を決めて、大きなサイズの作品を制作します。
- ・作品を表装して校内に展示することで、達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	作品制作	・漢字・仮名の古典の中から、 選択し、半切サイズに臨書 作品制作 相互鑑賞会	○	○			<p>a: これまでの学習を踏まえ、多様な表現技法について関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。</p> <p>b: 古典の特徴を理解し、美や美を構成する背景を感受しながら、表現を工夫している。</p> <p>c: 古典の表現技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。</p> <p>d: 古典の造形美や時代が要求した書体の特徴などを深く理解し、古典のよさや美しさを味わっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ
2学期	創作作品制作	・漢字・仮名・漢字仮名交じりの書・小字数・篆刻・刻字の中から選択 作品制作(半切サイズ) 相互鑑賞会	○	○		○	<p>a: これまでの学習を踏まえ、創造的な作品制作に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。</p> <p>c: 自己表現のための撰文や用具・用材の選択を適切に行い、創造的な表現の技能を身に付け表している。</p> <p>d: 互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ
3学期	表装と展示	・表装と展示 鑑賞会	○			○	<p>a: 表装の効果や技法について関心を持ち、主体性をもって意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 表装の効用を理解し、工夫している。</p> <p>c: 表装の効果的な技能を身に付け表している。</p> <p>d: 互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・レポート ・ワークシート ・ポートフォリオ

※ 表中の観点について a:書への関心・意欲・態度
c:創造的な書表現の技能

b:書表現の構想と工夫
d:鑑賞の能力

- ※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成 31 年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「美術 1」 (光村図書)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

○感じ取ったことや考えたことを基に主題を生成し表現する「絵画・彫刻」と、目的・機能・美しさなどを考えて表現する「デザイン」と、お互いの作品を批評し良さを話し合う活動も含めた「鑑賞」の分野について学習します。さらにカメラ機能を利用し「映像メディア表現」について学びます。

○表現材料の材質を生かし、使い方や制作手順、色彩の配色、表現方法の工夫など創造的な表現を深めて行きます。一人ひとりの違った感じ方や見方を認識し合ひましょう。日本をはじめ世界の美術の歴史や表現の特質について、作品を通して認識していきましょう。

2 学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して造形的な見方、考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を培う。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	ワークシート 制作の様子 鑑賞活動やグループ ワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	「美術Ⅰ」の学習について	[鑑賞] ・オリエンテーション 教科書の作品を鑑賞し、様々な価値観や世界観を通して美術文化を知る。授業を受ける時の注意。準備する物品の説明。	◎			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。	学習活動の様子
	絵画表現	「絵画」 ・鉛筆を使って目の前の対象を形や質感・明暗を表現する。	◎		○	◎	a:対象物の形態や表情についてとらえようとしている。 意図に応じて材料や用具の特性を活かすことができている。 c:幅広い表現方法を身につけるため鉛筆の使い方や特性、消しゴムについて学ぶことができる。 d:相互に作品を鑑賞し良さを見つける。	ワークシート 制作の様子 作品
	デザイン表現	[デザイン] ・課題テーマ「フェスティバル」について目的や条件、美しさを考え主題を生成する。 ・自分が創ろうとする作品の主題をアイデアスケッチ(エスキース)を通して探り、見出す。 ・色彩についての知識を教科書等を通して知り、配色を工夫し色彩を構成する。	◎	◎	◎	◎	a:課題テーマ「フェスティバル」のイメージから、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現しようとしている。 b:条件や美しさなどから、形や色などの働きを考えて創造的な表現の構想を練っている。 c:絵の具の材質を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 d: 他者の作品発表を見て良さを感じ取ることができる。自ら制作した作品について説明し伝えることができる。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品

2 学 期	立体デザイン・映像メディア表現	<p>[立体・デザイン] ・ダンボールの素材を利用し想像上の動く生物を考え制作する。</p> <p>[映像メディア表現] ・タブレットを利用しコマ撮りアニメーションの手法を学び簡単な動画を作成する。</p> <p>[鑑賞] ・アニメーションを鑑賞し、自身が作ったものや他者の作品について理解し、良さを感じることができる。</p>	◎	○	◎	◎	<p>a: 想像上の生物をイメージしダンボールの素材を利用し制作する。さらにカメラ機能を使って撮影するというを理解した上で制作を行っている。</p> <p>b: 簡単なアニメーションの手法を学び自分のイメージを膨らませ話を構築することができる。</p> <p>c: より立体的な生物の特徴を作成するため主題に合った工夫がされている。</p> <p>d: 他者の作品発表を見て良さを感じ取ることができる。自ら制作した作品について説明し伝えることができる。</p>	<p>ワークシート</p> <p>グループワークの様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>作品</p> <p>発表</p> <p>ワークシート</p>
	絵画表現	<p>[絵画] ・花のスケッチをもとにイメージを膨らませ構想する。 ・日本画材料について理解し、意図に応じて材料や用具の特性を活かす。</p> <p>[鑑賞] ・相互に作品を鑑賞しあう。 ・日本美術について歴史に触れ文化について価値観など考えさせる。</p>	◎	○	◎	◎	<p>a: 多様な絵画表現に興味関心を持ち、対象について描き表現することができる。また、日本の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、日本および諸外国の美術文化について理解を深めている。</p> <p>b: スケッチをもとに構想を膨らませ主題を生成している。</p> <p>c: 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。</p> <p>d: 他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、一人ひとりの作品の違いを認識し理解しようとする。</p>	<p>ワークシート</p> <p>制作の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>作品</p> <p>鑑賞活動の様子</p> <p>鑑賞ワークシート</p>

3 学期	<p>[絵画]</p> <ul style="list-style-type: none"> ルネサンス期から印象派、シュールレアリスムの作品を油絵の具を使って模写する。 油絵の具の特性について学び表現方法を取得することができる。 	◎	○	◎	◎	<p>a・c:基本的な油絵の具の特徴について学び手本となるルネサンス期から20世紀の代表的な絵画作品より構図・色彩を再現することができる。</p> <p>b:手本より作者の表現技法等を感じ取り、画材を工夫し再現することができる。</p> <p>a・d:時代ごとに様々な美術の表現が生まれ現代にも影響を与えていることに気づくことができる。描きながら主題について考えることができる。</p>	<p>制作の様子</p> <p>制作途中の作品</p> <p>作品</p> <p>鑑賞ワークシート</p>
	<p>[鑑賞]</p> <ul style="list-style-type: none"> 西洋の美術についての歴史を学ぶ。 主題について考えることができる。 	◎			◎		

※ 表中の観点について a…美術への関心・意欲・態度 b…発想や構想の能力
 c…創造的な技能 d…鑑賞の能力

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎を付け、重点的に評価を行う観点には○を付けている。

平成 31 年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「高校生の美術 2」 (日本文教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

○自然、自己、社会などを深く見つめ創ろうとする作品の主題を生成し心豊かに創造的な表現をする「絵画・彫刻」と、自然、自己、社会などを深く見つめ創ろうとする作品の主題を生成し生活を美しく豊かにする創造的な表現の「デザイン」と、お互いの作品を批評し合う活動を含む「鑑賞」の分野を学習します。

○主題に合った表現方法の工夫、表現形式の選択、表現材料の工夫、目的や条件を踏まえたデザイン効果などを心がけ、心豊かに創造的な表現に取り組みましょう。時代、民族、風土、宗教などによる表現の相違や共通性を知り美術文化の理解を深めましょう。

2 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な観点から創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループ ワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	「美術Ⅱ」の学習について	[鑑賞] ・オリエンテーション 教科書の作品を鑑賞し、美術Ⅱの授業内容を認識する。	◎			◎	a: 1年次の学習を踏まえ、更に深めて行く学習の意欲を高めようとする。 d: 美術作品の価値や世界の多様性を知り美しさやよさの質を探り美術文化の理解を深めようとする。	学習活動の様子 ワークシート
	「フェスティバル」をテーマとする絵画表現	[絵画・デザイン] ・テーマをもとにモダンテクニックの手法を利用しながら主題を生成する。 ・主題を基に構想を練り、アイデアスケッチなどにより自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・表現の意図に応じた材料や用具を吟味して使い、主題を追及し、やり切る。 [鑑賞] ・作品の制作意図について発表し、良さについて確認しあう。	◎	○	○	◎	a: 「フェスティバル」というテーマを基に自己の内面を見つめ感じ取ったことや考えたことなどから、主体的に主題を生成することができる。 b: 形体、色彩、構成などを創意工夫して構想を練ろうとしている。 c: 表現目的や意図に応じて材料や用具の特性や効果を生かす工夫をしている。 d: テーマに沿った表現が工夫されているかどうか、主題に合わせて色や構図が考えられているか、作品の良さを感じ取ることができる。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート
	夏期課題「鑑賞レポート」	[鑑賞] ・展覧会や寺社仏閣、建造物等を見に行き、アート作品から感じたことを自由に文章で表現する。作品を校外に発表する経験を味わう。	◎	◎		◎	a: 自身のアート体験について興味・関心を持って文章で書き表すことができる。 b: 自己と社会について考え美術の果たす役割について考えることができる。 d: 美術作品について深く知り味わうことができる。他者にも伝えることができる。	ワークシート レポート

2 学期	生活雑貨のデザイン	[立体デザイン] ・与えられた条件に対して誰が どういった環境で使われるもの なのかを意識しデザインを考え る。 ・素材である石粉粘土の特性を 活かしモデリング・カービングの 技法について学ぶ。 ・作品についての意図を他者に 伝える。他の人の作品について 批評する。	◎	○			a:生活や社会を心豊かにする美術の働きやデザインの目的や条件を踏まえて表現する事に関心をもち主体的に取り組もうとしている。 b:ストーリーを通して伝えようとする内容からデザインの目的、機能、美しさなどから創ろうとする絵本の主題を生成し、表現材料や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて表現材料の材質を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を豊かにする美術の働きや作品の理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート
	イラストで絵巻物	[美術][デザイン] ・修学旅行での出来事を筆や鉛筆、色鉛筆等のイラストで表し、絵巻物に仕立てる。 ・カメラ等を使って絵巻物を鑑賞する。	◎	◎	◎	◎	a:絵巻物を参考にその時の出来事を絵に表そうとする。 b:鳥獣戯画や北斎漫画等をもとに線の強弱や濃淡について学ぶ。 c:主題に合わせ最適な描画財を選び工夫し構成を考え、絵巻物に仕立てる。 d:絵巻物の鑑賞の仕方について学ぶ。	ワークシート 制作の様子 作品 鑑賞活動の様子 鑑賞ワークシート
3 学期	ポップアップカードづくり	[デザイン] ・贈って喜ばれる飛び出すカードを制作する。 ・季節や贈る人について考えるなど、主題に合わせミュージック紙の素材を生かし仕掛けを考える。 ・出来上がった作品について自由に鑑賞し良さを確認しあう。	◎	◎	◎	○	a:条件の中で他者に喜んでもらえるものを意識して考えることができる。 b:飛び出すカードの仕組みを理解しテーマを考えることができる。 c:紙の材質を生かし表現方法を工夫して創造的に表現している。 d:出来上がった作品についてお互い自由に見て意見を伝える。	アイデアスケッチ 制作の様子 作品 ワークシート

※ 表中の観点について a…美術への関心・意欲・態度

b…発想や構想の能力

c…創造的な技能

d…鑑賞の能力

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎を付け、重点的に評価を行う観点には○を付けている。

平成 31 年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	高校生の美術 3 (日本文教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

○創ろうとする作品の独創的な主題を生成し個性を生かし創造的な表現を行う「絵画・彫刻」と、創ろうとする作品のデザイン効果を考えて主題を生成し表現を行う「デザイン」と、お互いの作品を批評し合う活動を含む「鑑賞」の分野を学習します。

○限られた条件の中での表現方法の応用と、二次利用についてのデザインを心がける。

2 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心をもち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループ ワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	「美術Ⅲ」の学習内容について	[鑑賞] ・オリエンテーション 教科書の作品を鑑賞し、美術Ⅲの授業内容を認識する。	◎			◎	a: 2年次の学習を踏まえ、更に深めて行く学習の意欲を高めている。 d: 作者の主張、作品と時代や社会とのかかわりなどを考察し、自己の価値観や美意識を働かせて作品を読み取り味わっている。	学習活動の様子
	「デザイン・ポスター」情報の視覚化	[デザイン] ・B1の大きさで、テーマを自由に設定し、グラフやイラストを用いてポスターデザインする。 ・情報を整理し、形や色を効果的に用いて表し方を工夫する。 [鑑賞] ・作品を発表し、相互に鑑賞し、鑑賞文を発表する。	◎	◎	○	◎	a: 大きな作品に意欲を持って取り組んでいる。 b: 数値のみで表されているような統計資料をもとに、主題を生成し、表現の構想を練っている。 c: 主題に合った表現方法をもとに、形や色を効果的に工夫している。 d: 他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫、などを感じ取っている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート
2学期	「私の好きな場所」風景画	[美術] ・校内の自身の好きな場所の風景を描写する。 ・透明水彩絵の具の特性を理解し自身の情景と合わせ表現する。 ・出来上がった作品を鑑賞し良さを確認し、次につなげるための考察を行う。	◎	◎	○	○	a: 自身の描きたい感情を素直に表現しようとしている。 b: 主題に合わせ効果的に構図を考えることができる。 c: 季節を感じ水彩絵の具の特性を利用して自分なりに工夫して表現できている。 d: 他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫、などを感じ取っている。	スケッチ 制作の様子 作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート

	オリジナルロゴデザイン	[デザイン] ・自分の名前などからイメージしロゴデザインを考える。 ・不透明水彩を使って色彩計画をし、二次利用も想定したものを考える。 ・制作意図について発表し、意見交換等行う。	◎	◎	◎	○	a: 自分の名前などから自由にイメージし、文字やイラストを効果的に使ったものを考えようとしている。 b: 文字やイラストについてデフォルメを加えるなど表現についての効果について考えることができる。 c: 色彩についての理解や美しく塗るための技法について学ぶことができる。 d: 制作意図について伝え理解しあうことで作品についての価値について考えることができる。	ワークシート 取組み状況 制作の様子 作品 鑑賞ワークシート
	シルクスクリーンでオリジナルノート作り	[美術][デザイン] ・ロゴデザインを二次利用する ・版画の特性について知り、シルクスクリーンの版を作る。 ・版をもとに複数冊のノートに印刷する。 ・できた作品について相互で批評する。	◎	◎	◎	○	a: シルクスクリーンの版画技法を利用しノート作りに意欲的に取り組んでいる。 b: 色彩について様々なパターンを考え、版画の複数生産について理解している。 c: 刷りの技術について経験し習得する。 d: 出来上がった作品の良さについて批評し合い今後の制作に活かすことができる。	ワークシート 取組み状況 制作の様子 作品 鑑賞発表
3学期	「展覧会」をテーマに考える	[デザイン][鑑賞] ・一人の作家を取り上げ、展覧会を企画しポートフォリオにまとめる。 ・作家の作品について調べ、その魅力について他者に伝えることができる。	◎	○	○	○	a: 作家について調べ自分なりに作品の魅力について他者に伝えることができる。 b: ポートフォリオにまとめる中でデザイン効果や表現の構想を練っている。 c: 主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的なデザインや表現を追究している。 d: 他の作家の魅力について発見し視野を広げることができる。	ワークシート 取組み状況 制作の様子 制作途中の作品 発表 発表ワークシート

※ 表中の観点について a…美術への関心・意欲・態度 b…発想や構想の能力
c…創造的な技能 d…鑑賞の能力

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎を付け、重点的に評価を行う観点には○を付けている。